PMS-1708（19026）

施工説明書

シャワーパネル

BF-W11T型
BF-W12T型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100％発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

1. 施工の前に

安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注 意 …「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

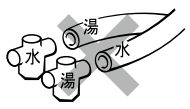
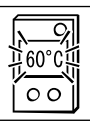
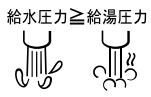
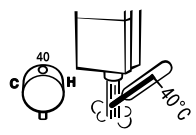
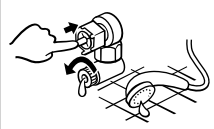
⚠ …「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⃠ …「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

…「分解してはいけません！」

❗ …「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注 意

（禁止）	**湯水を逆に配管しないでください。** ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
（禁止）	**給湯器の温度設定は60℃以上で使用しないでください。** ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	
（禁止）	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
（禁止）	**寒冷地用の場合、水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。** ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。	
（分解禁止）	**修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。** ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
（指示）	**給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。** ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	
（指示）	**目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。** ※使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、ヤケドをすることがあります。	
（指示）	**お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。** **寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。** ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
（指示）	**ストレーナーの掃除をする際は、必ず配管の元バルブを閉じてから行ってください。** ※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
（指示）	**給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。** ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	

本製品の仕様と条件

給湯温度設定	85℃以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)
使用環境温度	【一般地用】 0～40℃	但し、内部の水を凍結させないでください。	
	【寒冷地用】 －20～40℃		
給水給湯接続	PJ1/2		
圧 力 条 件	0.11MPa(流動時)～0.75MPa(静止時) **給水圧力≧給湯圧力** (※2)		

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。
※2 給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

施工前に給湯機器の能力を十分確認してください。シャワーを快適に使用することができなくなることがあります。

ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力（流動時）	A＋0.11MPa ※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
最 高 圧 力（静止時）	0.75MPa

測定条件は次の通りです。
●ハンドルは全開。
●給水温度5℃、吐水温度42℃（ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬を想定）。
●給水圧力はガス給湯器直前における流動時の圧力です。
●ガス給湯器の設定温度は最高温度です。

その他の条件
●給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20～0.40MPa)に減圧してください。
●給湯に蒸気は使用できません。
●給湯温度は使用する最高温度より10℃以上高く設定してください。
●不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下** にしてください。
●定流量弁付の場合は、上記水圧＋0.02MPaとなります。

施工前のご注意

取付けに必要な工具

●取付けにはドリル、プラスドライバー、モーターレンチ等を用意してください。
※BF-W12T型の場合、対辺3の六角棒スパナを用意してください。
※取付け壁に合わせて適切なドリルを使用してください。

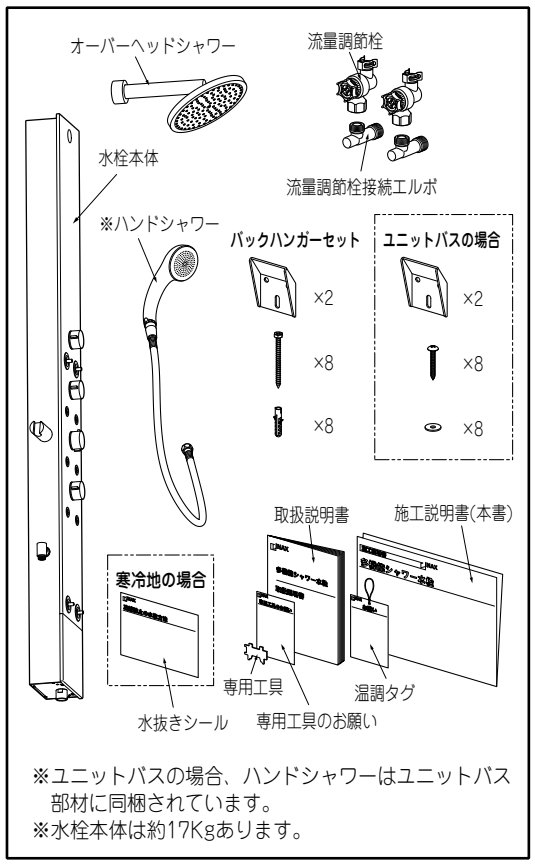
取付け壁について

●施工方法については取り付ける壁によって異なります。適切な方法で取り付けてください。（「2.施工方法」参照）
●木下地の場合は、取付部の裏に厚さ30mm以上の補強木を設けてください。
なお補強木は柱または間柱に固定してください。
●コンクリート下地の場合は、同梱の樹脂プラグを使用してください。（「2.施工方法」参照）
●ユニットバスの場合は、ユニットバス部材に同梱の樹脂プラグを使用してください。
●取り付ける前に必ず、穴、穴の周囲にシーリング剤を塗布してください。

その他の注意点

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分に注意してください。
●必ず **配管中の異物を完全に洗い流してください。**

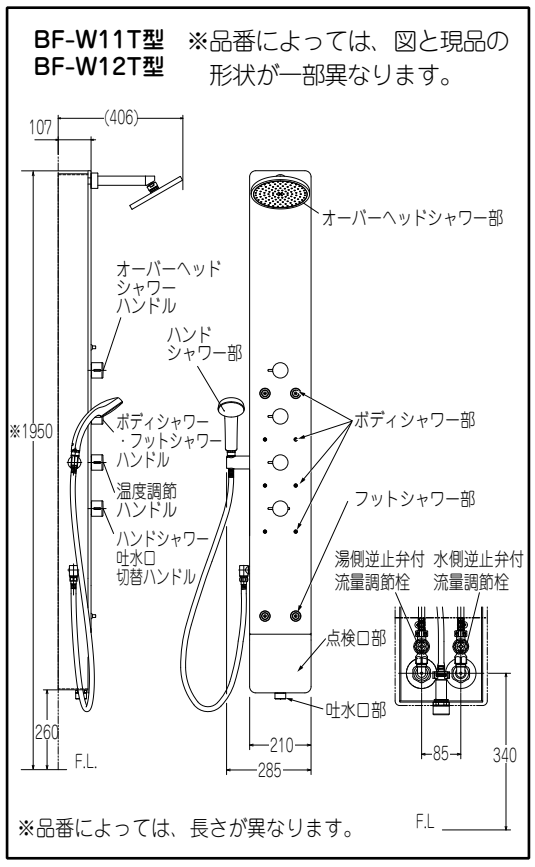
同梱部品



※ユニットバスの場合、ハンドシャワーはユニットバス部材に同梱されています。
※水栓本体は約17Kgあります。

施工完了図

BF-W11T型
BF-W12T型
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



※品番によっては、長さが異なります。

株式会社 LIXIL

●商品･施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173

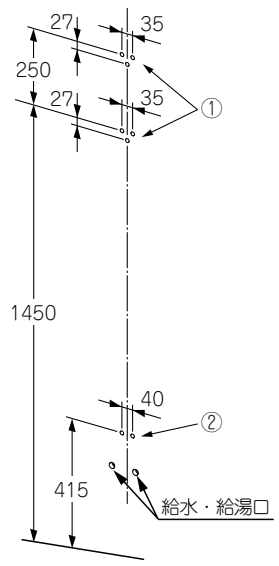
受付時間 平日 9:00～18:00
土日･祝日 9:00～17:00
（夏期･年末年始の休みは除く）

2. 施工方法

以下の手順の通り、正しく取り付けてください。

① バックハンガーの取付け

1. 下図の位置8箇所にドリルで下穴をあける。
※取り付ける壁によって異なります。表を参照ください。

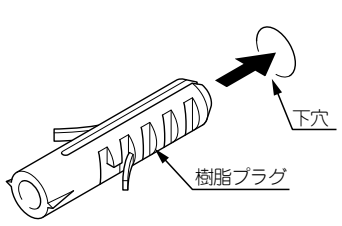


		LIXIL ユニットバス	LIXIL SUITEROOM	木下地	コンクリート下地
①	下穴径(mm)	不要(開口済)	φ5	φ4.5	φ8
	下穴深さ(mm)		12※1	75	75
②	下穴径(mm)	不要(開口済)	φ5	φ4.5※2	φ8
	下穴深さ(mm)		12※1	75	75

※1 SUITEROOMの場合、下穴を12mm以上あけると裏側の補強木が貫通してしまいます。
※2 木下地の場合、②がコンクリート基礎のときはφ8×75mmをあけてください。

注 意
- **コンクリートに穴をあけるときは、適切なドリルを使用してください。**
- **下穴は壁面と垂直にあけてください。**
  ※穴が傾いていると正しく施工できなくなる恐れがあります。

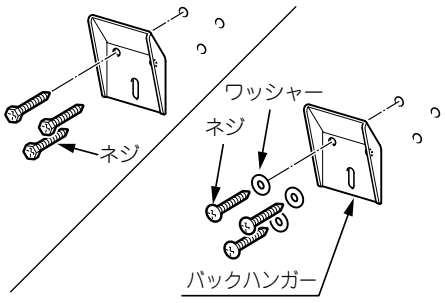
2. 樹脂プラグを下穴に打ち込む。



	LIXIL ユニットバス	LIXIL SUITEROOM	木下地	コンクリート下地
①	○※3	不要	不要	○
②	○※3	不要	不要※4	○

※3 ユニットバスの場合、ユニットバス部材に同梱の樹脂プラグを使用してください。
※4 木下地の場合、②がコンクリート基礎のときは同梱のコンクリート用樹脂プラグが必要です。
※5 ユニットバスの場合、ユニットバス部材に同梱のバックハンガーを追加で取り付ける必要があります。ユニットバスの施工説明書を確認してください。

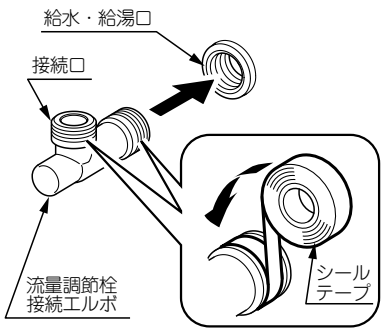
3. バックハンガーを取り付ける。



注 意
- **取り付ける前に必ず、穴、穴の周囲にシーリング剤を塗布してください。**
  ※シーリング剤がないと、壁裏に水が浸入します。
- **バックハンガーはまっすぐになるように取り付けてください。**
  ※まっすぐに取り付けないと水栓本体が正しく取り付けられません。

② 流量調節栓の取付け

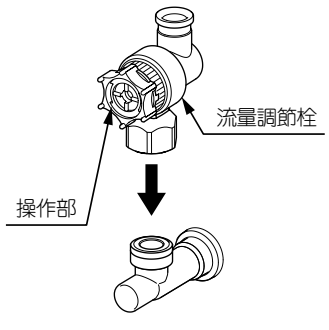
1. 流量調節栓接続エルボのネジ部2箇所にシール材（シールテープ等）を巻いて、給水・給湯口にねじ込む。このとき流量調節栓接続エルボの接続口が上に向くようしっかりとねじ込む。



ポイント
シールテープの巻き方
ネジ端面から1山外して、ネジの回転方向（時計方向）にシールテープ張力を加えながら、ネジ谷部に食い込ませるように巻き付けます（約8巻き）。

注 意
一度ねじ込んだ流量調節栓接続エルボは決して戻し方向に回さないでください。
※シール不良となり漏水の原因となります。

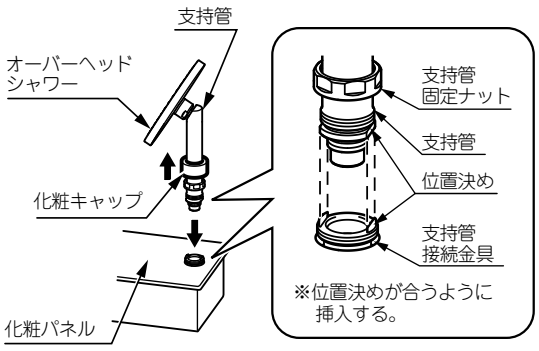
2. 流量調節栓を流量調節栓接続エルボに取り付ける。このとき操作部が正面側になるよう工具を使ってしっかりとねじ込む。



注 意
一度ねじ込んだ流量調節栓は決して戻し方向に回さないでください。
※シール不良となり漏水の原因となります。

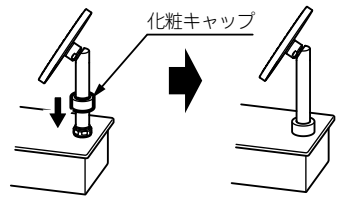
③ オーバーヘッドシャワーの取付け

1. 化粧キャップを緩め、支持管を支持管接続金具に挿入し、支持管固定ナットを工具でしっかりと締め込む。



注 意
- **Oリングにキズをつけたり、ゴミかみをさせないでください。**
  ※漏水の原因となります。
- **散水板の向きに注意してください。**
- **固定ナットを締め込むときは、工具で化粧パネルにキズがつかないよう、注意してください。**

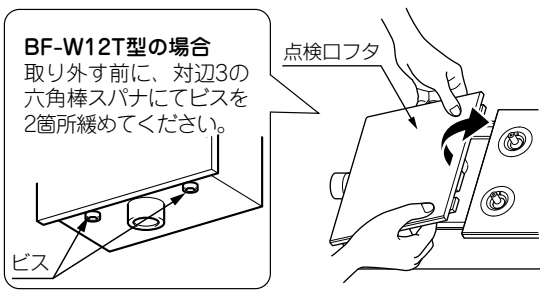
2. 化粧キャップを手締めで取り付ける。



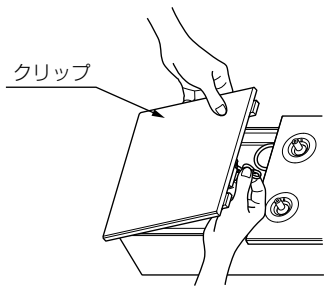
ポイント
支持管と支持管接続金具がしっかり挿入されていないと、化粧キャップが取り付けられません。

④ 点検口フタの取り外し

1. 点検口フタを下に押し下げたまま手前に引いて外す。

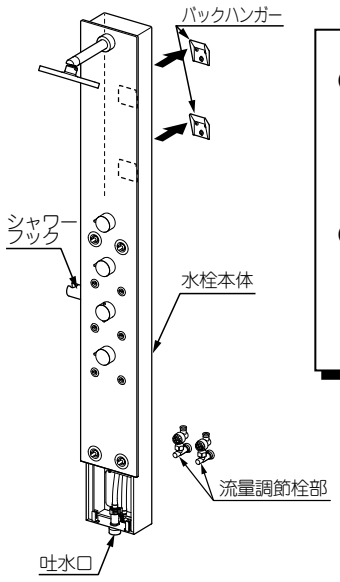


2. クリップを取り外す。

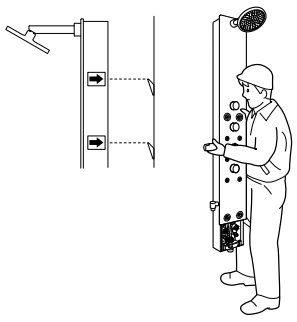


⑤ 水栓本体の取付け

1. バックハンガーに水栓本体裏側の開口部2箇所を引っ掛ける。

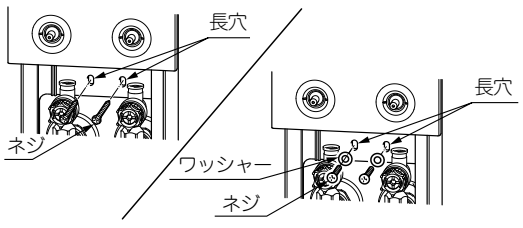


ポイント
- **ボックス側面にある目印がバックハンガーの取付け時の目安になります。**
  ※施工後は剥がしてください。
- **シャワーフックに手をかけて持ち上げてください。**
  ※重量は約17Kgあります。無理な姿勢で持ち上げないでください。



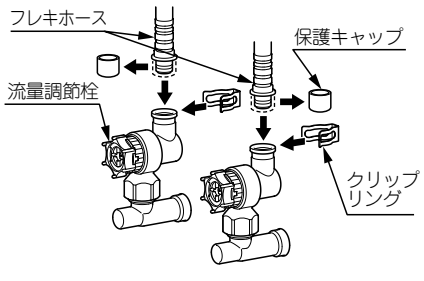
注 意
- **取付け時、水栓本体が流量調節栓部に当たらないようにしてください。**
- **持ち上げるときは、ハンドルを持たないでください。**
  ※破損したり故障の原因となります。
- **取付け時、吐水口を床に置かないでください。**
  ※吐水口や床に傷がついたり、破損する恐れがあります。

2. 水栓本体の下側開口部の長穴にネジで固定する。

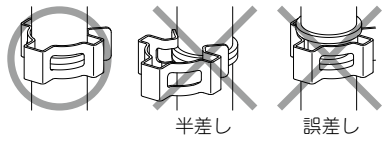


ポイント
水栓本体がまっすぐになるようにまた穴位置が合うように水栓本体を左右にずらして調整して取り付けてください。

3. フレキホースの保護キャップと流量調節栓のクリップリングを外し、流量調節栓にフレキホースを差し込み、外したクリップリングを流量調節栓との接合部（ツバ部）にはめ込む。



注 意
- **湯・水逆に差し込まないでください。**
  ※逆に差し込むと表示通りに湯がでません。
- **クリップリングは確実にはめ込んでください。**
  ※半差しだと水圧により配管が外れ漏水の原因となります。

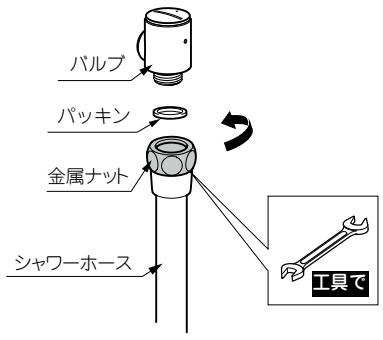


確 認
確実に接続されているか確認すること。
※水圧により配管が外れ漏水の原因となります。

⑥ シャワーホースの取付け（シャワー付のみ）

シャワーホースをシャワーエルボまたはバルブに接続し、しっかりと固定する。

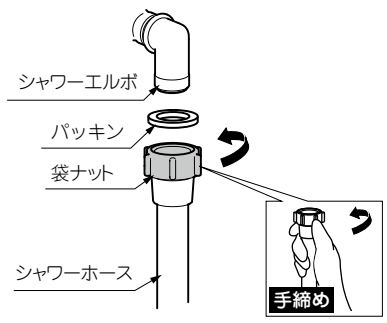
金属ナットの場合



工具を使ってしっかりと締め付ける。

注 意
- 締付けにモンキーレンチを使用する場合は、先端を金属ナットの2面幅に合わせてください。
  ※ 締付け不足により、漏水の原因になります。
- 締付けにモンキーレンチを使用する場合は、工具の向きにご注意ください。
  ※ 締付け不足により、漏水の原因になります。
  ※ 水栓金具や工具が破損する恐れがあります。
- パッキンの紛失に注意してください。
  ※ 漏水の原因となります。
- 必ず付属の黒いパッキンを使用してください。

それ以外の場合



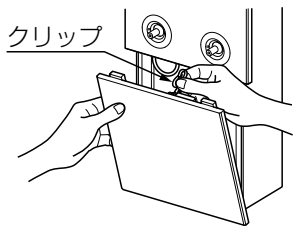
手締めでしっかりと締め付ける。

注 意
- 袋ナットの締付けに工具は使用しないでください。
  ※ 工具を使用すると袋ナットが破損する恐れがあります。
- 袋ナット内にパッキンが入っていることを確認してください。
  ※ 漏水の原因になります。
- シャワーホースは取付脚の下に出るように取り付けてください。
  ※ ホースの折れや破損の原因となります。

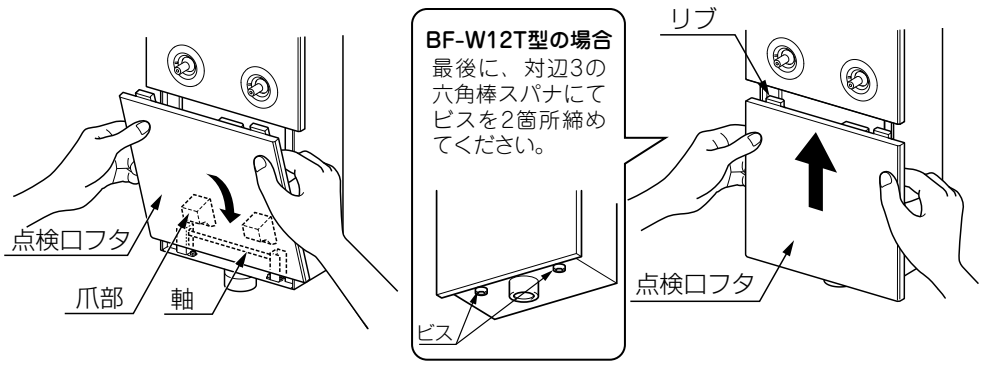
[スイッチシャワーの場合]
- Uパッキンにキズをつけたり、ゴミを付着させないようにしてください。
  ※ 手元スイッチでの止水ができなくなります。

⑦ 点検口フタの取付け

1. クリップを取り付ける。



2. 点検口フタの裏側の爪を本体側の軸に引っ掛けて下に押し下げ、裏側のリブを本体側にもぐり込ませる。



3. 施工後の調節

以下の手順の通り、正しく調整してください。

1 水出し確認

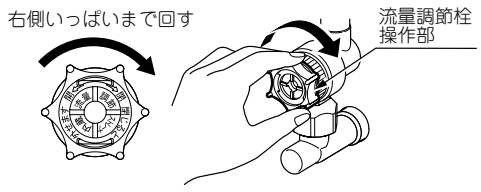
フレキホース、吐水口本体などの接続部から水漏れが無いことを確認してください。

注 意

流量調節栓の耐圧性能は0.75MPaです。配管の耐圧検査を行うときは、流量調節栓を閉めずに、各ハンドル部で止水して行って下さい。

2 ストレーナーの清掃

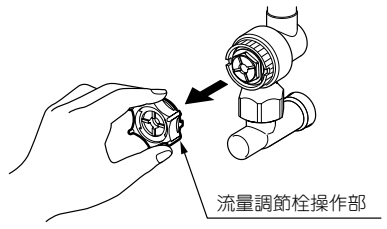
1. 流量調節栓を閉じる。



注 意

湯側（赤）と水側（青）の両方を閉じてください。

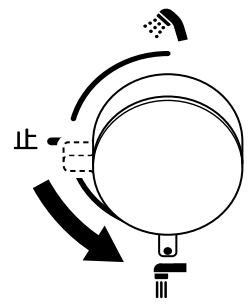
2. 流量調節栓の操作部を外す。



注 意

操作部は流量調節栓を完全に閉じた状態でないと取り外し、取り付けできません。

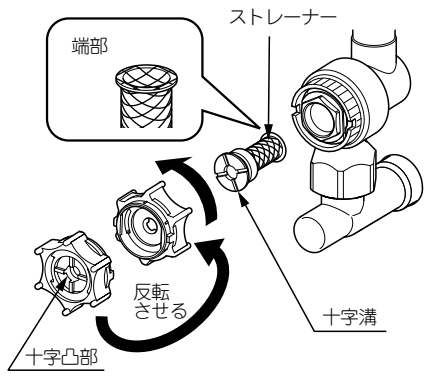
3. 切替ハンドルを「（吐水口）」側全開にして水栓内部の圧力を抜く。



注 意

流量調節栓で確実に止水されていること。

4. ストレーナーを取り外し、ゴミ等を洗い流す。



注 意
- 流量調節栓の内側にゴミを落さないでください。
- ストレーナー端部に指をふれないでください。
  ※ケガをする恐れがあります。

ポイント

操作部を反転させて、十字凸部をストレーナーの十字構にはめて左（反時計回り）に回して外します。

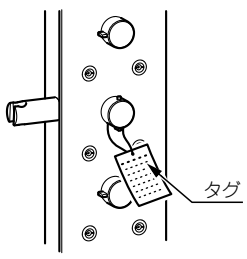
5. 元通りに組み付け、流量調節栓を全開（左回りいっぱいに回す）にする。

注 意

ストレーナーは湯側、水側の2ヶ所あります。両方のストレーナーを掃除してください。

3 給湯温度の設定

給湯器の給湯温度を設定します。

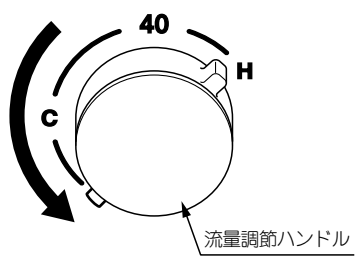


ポイント
- 給湯温度は使用する最高温度よりも10℃以上高く設定してください。おすすめの設定温度は60℃です。
- 給湯温度が確認できない場合は、同梱のタグを温度調節ハンドルに付けてください。

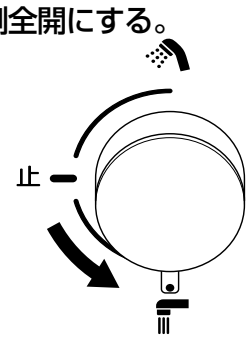
4 流量の確認

切替ハンドルを吐水口側で全開にした時に流量が20L／分を超える場合は水側と湯側の流量調節部を以下の要領で調節してください。

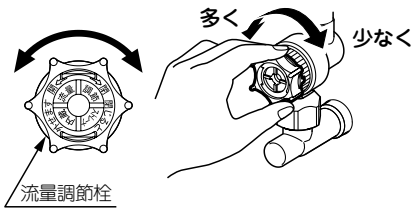
1. 温度調節ハンドルを「C」側いっぱいに回す。



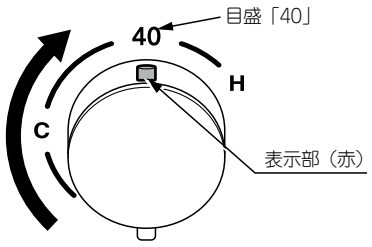
2. 切替ハンドルを「（吐水口）」側全開にする。



3. 水側（青）の流量調節栓を調節する。



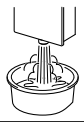
4. 温度調節ハンドルの表示部（安全ボタン）を目盛「40」に合わせる。



5. 水側と同様に湯側（赤）の流量調節栓を調節する。

ポイント

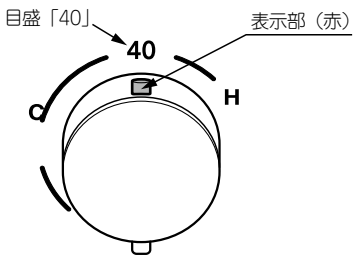
調節の目安
洗面器をいっぱいにするのに約10秒弱（=20L/分程度）。



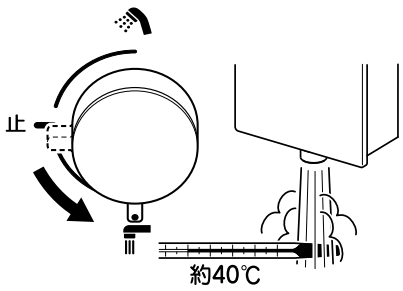
5 吐出温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると表示通りの温度が出ないことがあります。
吐水温度が表示通りになっているか、以下の要領で確認してください。

1. 温度調節ハンドルの表示部（安全ボタン）を目盛「40」に合わせる。



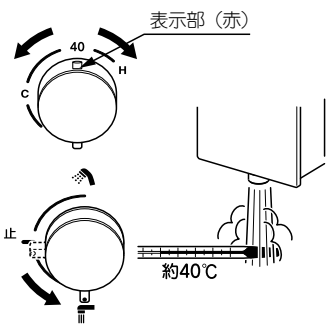
2. 切替ハンドルを「（吐水口）」側全開にして吐水温度を測る。



吐水温度が適温(約40℃)である ➡そのままお使いいただけます。
吐水温度が適温からズレている ➡「6. 温度調節ハンドルの設定」の項を参照し、設定し直してください。

6 温度調節ハンドルの設定

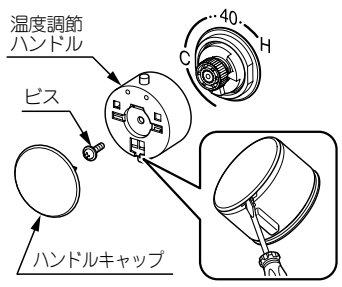
1. 全開吐水し、目盛「40」に関係なく吐水温度が適温（約40℃）になるように温度調節ハンドルを調節する。



ポイント

温度調節ハンドルを湯側に回すと、目盛「40」を少し過ぎたところで止まります。これより高温側に回したいときは、表示部（安全ボタン）を押しながら回します。

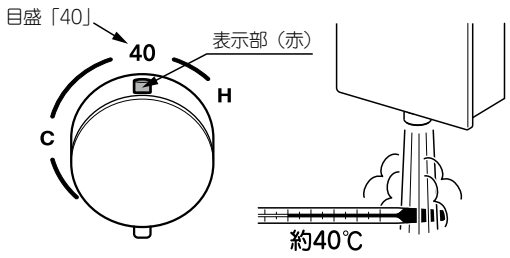
2. 吐水温度が適温（約40℃）になったところで止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意しながら、ハンドルキャップ、ビスを外し、温度調節ハンドルを抜き取る。



注意

ハンドルキャップを取り外す時は、ハンドルの工具掛け部に確実に工具（小型のマイナスドライバーなど）の先を掛けて、慎重に行ってください。
※無理にこじ開けますと、ハンドル及びハンドルキャップにキズがついたり破損することがあります。

3. 抜き取った温度調節ハンドルの表示部（安全ボタン）が目盛「40」に合うように温調調節ハンドルをはめてビスを締め、ハンドルキャップをはめ込む。



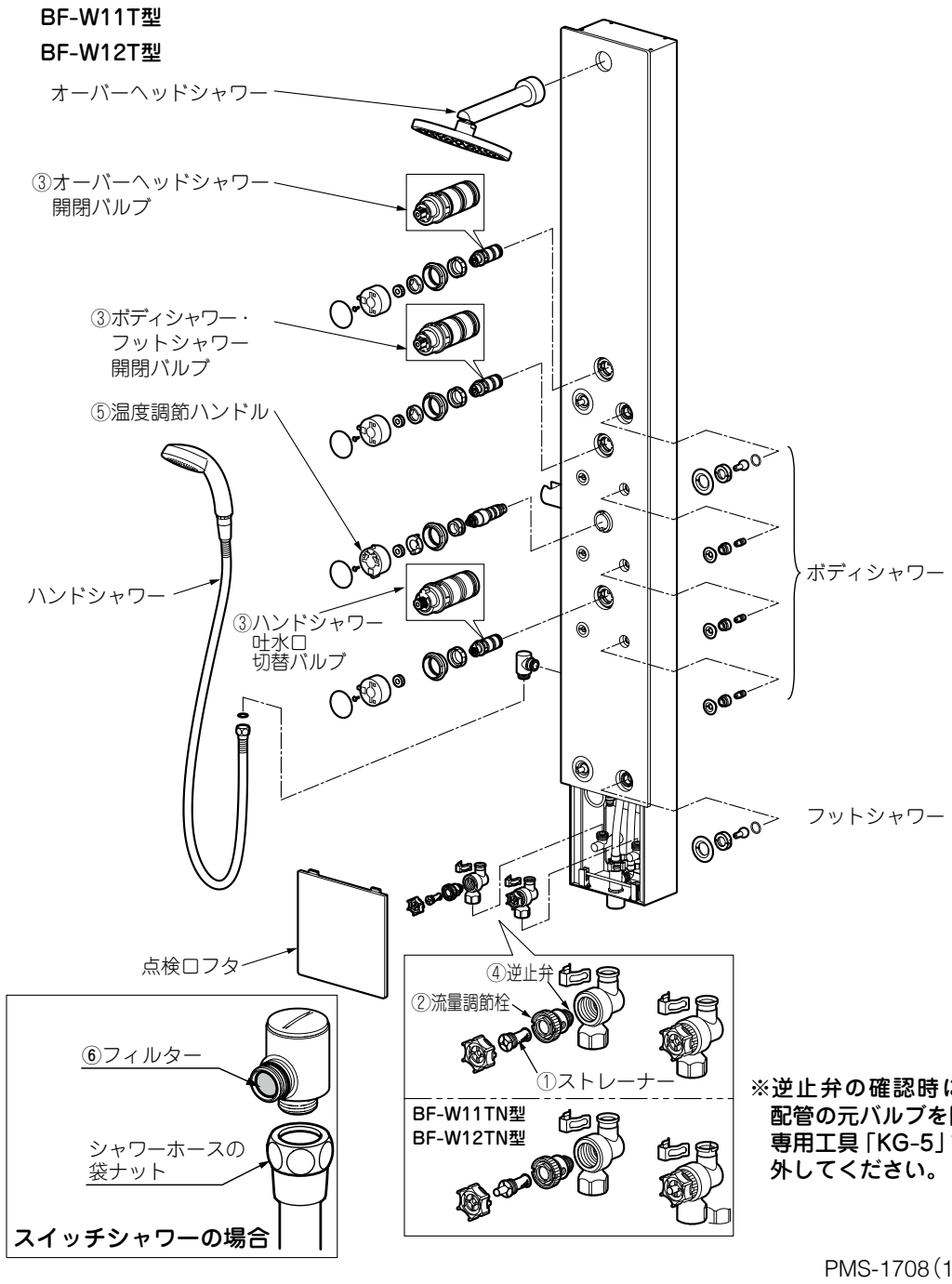
注意

ハンドル固定後に適温（約40℃）の湯が出ることを確認してください。

4. 引渡し前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。
チェック内容
●フレキホースと流量調節栓にクリップリングが確実に接続されているか？
●水栓本体の下側開口部の長穴をネジで固定したか？
●点検口フタのクリップを取り付けたか？
●同梱の温調タグを温度調節ハンドルに付けたか？
●本体に元通りに養生シートを貼り付けたか？

現　象	点検内容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	流量調節部は十分開いているか？	②	流量調節部を十分開く。
	給湯器の設定温度は良いか？		給湯器設定温度を最高使用温度よりも10℃以上高く設定する。（おすすめの設定温度は60℃）
	バルブのフィルターにゴミ詰まりはないか？	⑥	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	③	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？（Oリング、シートにキズは？）	③	キズがあれば部品を交換する。
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か？（Oリング、シートにキズは？）	④	ゴミ等を水で洗い流す。キズがあれば部品を交換する。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	給湯器の温度調節は良いか？		給湯器設定温度を最高使用温度よりも10℃以上高く設定する。（おすすめの設定温度は60℃）
	温度調節ハンドルの設定は良いか？	⑤	「温度調節ハンドルの設定」の項参照。



※逆止弁の確認時には、配管の元バルブを閉じ、専用工具「KG-5」で取り外してください。